

SHIRAKOBATO

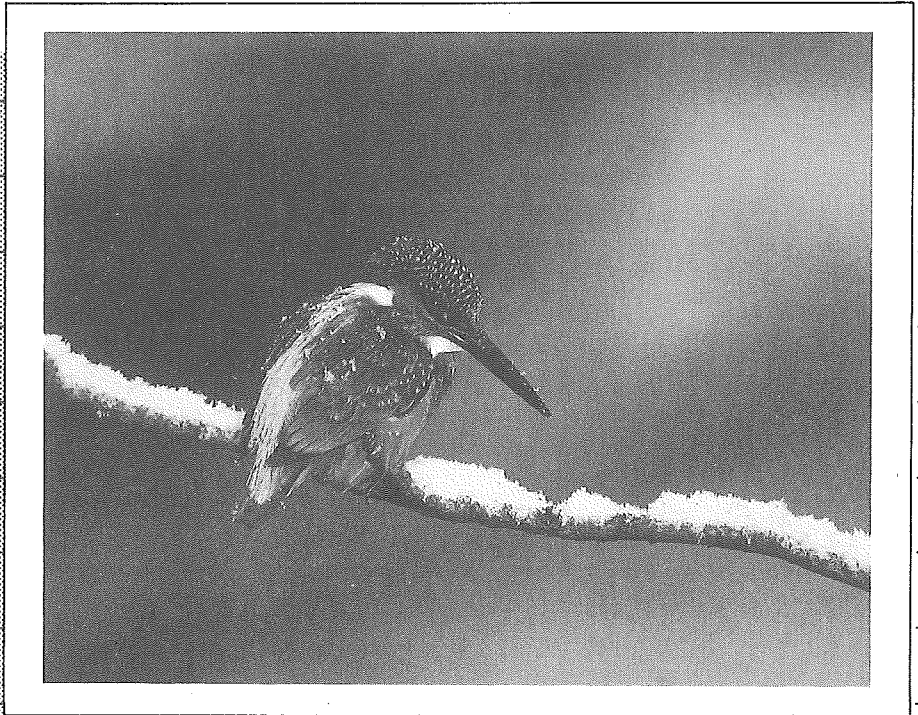


しらこぼと

1995. **1**

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 129

日本野鳥の会 埼玉県支部

行ってみよう、やってみよう 海外の探鳥

松井昭吾（大宮市）

世はまさに超円高。航空運賃も未曾有の安値。世界各国の飛行機は毎日ブンブン飛んでいます。修学旅行も海外の時代。海外のバードウォッチングをお考えの方もいるはず。すでに幅広く実行している方も大勢いらっしゃる中で、経験の浅い私ですが、思い付いたことをまとめて見ました。

■海外探鳥のチャンス

いろいろな形で現れる海外バードウォッチングの機会。例えば、

- ①仕事での出張のついで
- ②知人親戚を訪問したときに
- ③一般の観光ツアーの間に時間を都合して
- ④本格的探鳥会ツアーに参加して
- ⑤個人ベースで、先方のバードウォッチャーにガイドを頼む、

などなど。それぞれに一長一短があり、探鳥のための熱意、予算、時間的余裕などによっても違ってきます。

金と時間に余裕があれば、④の本格的探鳥ツアーに乗って行けば、最高でしょう。逆に、航空券、宿泊の手配から現地の探鳥ルートの設定、現地バードウォッチャーとの連絡まで、一切を自分で計画、実行できれば、満足度の高い、しかも安上がりの海外探鳥が実現できるでしょう。

■ツアーに参加する

満足度の高いものを求めるには、参加費は多少高んでも、ベテランのガイドの同行するツアーがもっとも簡便で確実です。国内の探鳥会でご経験のように、ベテランリーダーは実に効率よく参加者を満足させてくれます。

ツアーの選択には、どこで、どんな鳥が見られて、リーダーはベテランか、宿泊はホテルクラスかロジッククラスか、食事代は参加費に含まれているか、かなり歩くコースかどうか等々を、事前チェックします。

『野鳥』誌などに海外探鳥ツアーの広告が数多く掲載されています。資料を請求して、詳細に比較検討、不明なところは問い合わせ、しだいに自分の求めるものにもっとも近いものを選択するわけですが、選択の基準としては、同行講師の質を重視するのが良いでしょう。

■個人ベースで

個人ベースの場合は、それなりの努力も必要ですが、楽しみも倍加されるという醍醐味があります。私的な経験で恐縮ですが、ホノルルのDさんと、シドニーのRさんとの探鳥は、生涯忘れられない体験となりました。

出張先で紹介された優雅なベテランバードウォッチャーDさんは、ライフレコードはすでに1600種をオーバー。奥さんも、「まあまああのバードウォッチャー」とはいうものの、すでに1000種類くらい見ているとのこと。

まず飛行機でカウアイ島に飛び、レンタカーで一番大型のリンカーン・コンチネンタルを借り、奥さんの運転で小雨の山上へ。私の分も含めて完璧な雨具も用意。どうしても日本からのバードウォッチャーにハワイの赤い鳥、アパパネ（Apapane アカハワイミツスイ）を見せるんだと、雨の中を30分。見事に見せてくれました。この時の赤い鳥とDさんの満足そうな顔は、共に暖かい思い出です。

Dさんは、その後もアフリカ、アリュエシヤン、南米などを歴訪している、まさに優雅なWorld Birderです。

シドニーのRさんは30代後半の独身。日本流に言えば「猛烈」バードウォッチャー、または「鳥キチ」。オーストラリア野鳥の会（RAOU）を通して紹介された現地ボランティアです。

精力的に朝の7時からびっしり12時間、約300キロのドライブを含んでの徹底的探鳥。早くても確かな神業のような目と耳を駆使し、12時間に80種の鳥を見せてくれました。

なかでも印象的だったのは、ワライカワセミとコクチョウでした。日本では公園やお掘りでしか見たことがなく、飛べないコクチョウが、すごい迫力で飛んでいるのです。

待望のワライカワセミを道端の樹上に見つけたときには、カメラを構える私のために、車を徐々に近づけてくれました。会心の作が

取れたと期待していたのですが、焼いて見ると全部ブレブレ。エンジンを止めていなかったのです。残念！

Rさんは、その後日本にも来て、台風のように日本を縦断、日本人でさえ簡単には行けない探鳥地を総なめにして、ついでにヨーロッパ、スリランカ、ホンコンなどを「猛烈」アタックして行きました。

個人ベースでボランティアの方に好意にご案内していただくのには、それなりのエチケットも心得ておきましょう。車のガソリン代などは、原則として依頼人が負担します。そのほか、常識的に考えて負担をかけないことです。Rさんの言によれば、「金銭の問題ではない。誠意の問題だ」とのこと。こちらの探鳥の熱意や姿勢が本当に懸命なものであれば、以心伝心でわかるものです。

日本からのある猛烈バードウォッチャーをご紹介したところ、腕の立つ剣士同士が相手の力量を「うむ、できる奴だ」と感知するように意気投合したのでしょうか、「あのようなバードウォッチャーなら大歓迎」と激賞してきました。現地ボランティアの心情の一端が分かります。

■どこへ行くか一探鳥地の選択

世界にはあまりにも多くの探鳥地がありますが、現実的な選択として、まず手始めにホンコンをおすすめします。

その魅力はなんといっても近いこと。飛行機で5時間。鳥の種類も個体数も多い。日本ではまれにしか見られない鳥が容易に見られる。アフターバードウォッチングにショッピングが楽しめる、等々でしょう。

英国統治の頃からの保護区が各所にあり、もっとも有名なマイボ自然保護区をはじめ、タイボカウ自然保護区、チンベイチョイ、ルッケン、ロングバレー、シャティン、ピクトリアピーク等は見応えの地です。

3泊4日のツアーで、約120~130種観察できます。日本では珍鳥のソリハシセイタカシギ、シベリアオオハシシギ、ヤマショウビン、ヒメヤマセミ、アオショウビン等がごく普通に見られ、冬期にはカラフトワシやカタシロワシが、かなりの確度で期待できます。

保護区に入るための許可や現地ガイドの必要もあるので、本部の主催するツアーのように、信頼の置けるツアーに参加するのが手っ取り早いでしょう。

距離的に近くて行きやすい場所としてもうひとつ、サイパンをおすすめします。

鳥の種類はホンコン程ではありませんが、なんといっても、シロアジサシやネッタイチョウ類の宝庫です。この島で空をヒラヒラ飛ぶ白い鳥は、すべてアカオネッタイチョウかシラオネッタイチョウ、またはシロアジサシと見て間違いありません。ナンヨウショウビンも至近距離で見られ、すばらしい被写体になるでしょう。南北21km、最大幅9kmの島ですから、レンタカーで簡単にまわれます。パンザイクリフ、スーサイドクリフ、バードアイランドあたりが好適地です。

ほかにも、世界を見渡せば、アラスカ、テキサス、コスタリカ、南米、イスラエル、オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ等々、無限にバードウォッチャーを惹きつけるところがあります。それぞれの趣向に合わせて、研究しながら事を進めるのがよいでしょう。

■情報を入手する

どこで、どんな鳥が見られるか、または見たいか、ありとあらゆる方法での情報の入手が大切です。『野鳥』誌をはじめ、国内のアウトドア関係誌、ツアー関係誌、さらに海外の野鳥関係誌から、かなりの情報が入手できます。単行本で世界の探鳥地を網羅したものの、地域別に詳述したものもあります。

目的を絞り込んで、特定地域の詳細な地図入りの案内書があれば、心強いものです。日本野鳥の会のバードショップで注文、購入するとか、先輩や友人に教えてもらうのが簡単でしょう。

アメリカのABA (American Birding Association) や、英国のRSPB (Royal Society for the Protection of Birds) 等の発行誌には、世界規模の探鳥ツアーや野鳥情報が掲載されています。

■百聞は一見に如かず

あまり心配しないで、一度体験する事をおすすめします。言葉の問題等、図鑑と手まねと熱意で通用します。鳥ばかりでなく、その国の人との接触、風景、文化との遭遇等々、考えるだけでも夢が広がっていきませんか？

イスラエルの猛禽類の壮大な渡り、サイパンの優雅なシロアジサシ、コスタリカの珍鳥ケツアール……夢は無限に広がります。

ご支援に感謝

バードソン

リブラン埼玉レッズ '94

さる11月13日(日)バードソンが開催されました。私達が埼玉県内をドタバタと走り回った模様をお知らせします。

夜明け前に下久保コテージを出発。昨夜見た冬の星座は西に傾いて、頭上にはもう春の星座が輝いている。張りつめた朝の空気の中で遠くからカー。第一号はハシブトガラスだった。周囲の山林で声をたよりに鳥を聞きわける。シジュウカラ、コゲラ、ヒヨドリ、ルリビタキ等々と数が増えていくにつれて、空が明るくなってきた。突然、空をハイタカが横切って、一同から歓声！予定外が出てくれた。

下久保ダムは水が少なく、鳥の影もわずか。道を下っていくと、ニーニーの声。ヤマガラと思って双眼鏡を向けるとコガラだった。これも予定外。ラッキー！

2台の車で移動中に、川にオシドリがいるのを発見、前の車を呼びに行くと中では伊藤リーダーと長谷部さんが、のんびりと食事中。大急ぎで引き返して確認してもらった。

阪東大橋ではサポーターの町田さんと合流して、すぐポイントへと急ぐ。途中、チョウゲンボウ、ノスリが次々に飛ぶ。中洲を観察しながら朝食のおにぎりをほおぼっていると後でモズがキッキキキと鳴く。「がんばれ、がんばれ」と応援してくれているようだ。こうして一生懸命になって鳥を見て種類数を稼いでいるのは、自分たちの楽しみのためじゃなくて、支援してくれる人達がいる、それが自然の保護運動につながっているんだ……。そんな実感が沸いてくる。でも感慨にふけている場合ではない。もっと鳥を!!

「おっ、中洲にハヤブサがとまっている」「下流方向にミサゴ」いっぱい稼いだ。

車は大森生へ。ここはコハクチョウとクサシギが目玉だ。確認が終わって探鳥会の参加者との交歓。伊藤さんのあいさつの後、拍手

に送られてカッコよく出発しようとする長谷部さんと田口君がまだ鳥を見ている。置いて行っちゃうぞ。

吉見の大沼、天神沼を回って鴻巣駅へ。駅の周辺でシラコバトを確認する予定になっている。そして、いない！どうしても見つからない。このままでは支部報の名称がキジバトになってしまう。どうしよう。どっと疲れが出てきたけど、あきらめて電車で浦和へ。

東口で手塚さんと待ち合わせる筈だったが隊員たちは事務局のある西口へ出てしまった。パブロフの条件反射というやつだろうか。おかげで手塚さんがてんでこまい。

三室でタカブシギ、バンを確認して、車は最後の秋ヶ瀬、道満へと向かう。そこでは、リブランの皆さんがバーベキューをやりながら待っている予定だ。

道満に着くと池は水がいっぱい、カムリカイツブリがポツンと一羽。薄暗くなりかける中で、あと出現しそうなのはオナガとゴイサギに限られてきた。伊藤リーダーは疲労困憊。「そろそろ5時だよ。終わりにしよう」と帰りかけたところで「ゲーイ」やったオナガだ。5分前だった。

リブランさんとあいさつをしていると急にバタバタとゴイサギがいっぱい飛び出してきた。時計を見ると5時1分。アウト……。アフターファイブのOLが街へ繰り出していくようだ。

集計してみると73種！目標に2種足りないけど、昨年より1種増えた。大健闘といえるだろう。しかし、バーベキューが終わっていたのが残念だった。

(杉本秀樹)

新年のごあいさつ



新年明けましておめでとうございます。皆様にはそれぞれお気持ちも新たに、ご家族と共に家で、あるいは防寒具に身を固めてアウトドアで、平成7年、1995年をお迎えのことと思います。

年の変わり目という大きな節目に立つと、誰しも一旦立ち止まって過去を振り返り、また将来を考えるものです。私共の埼玉県支部も10年前、苦難の道を切り開いて着々と歩を進め、現在では「最も活動的で、最も安定した、ユニークで、しかも親しみ易い支部」と

の定評を頂いています。これはひとえに支部会員、役員の一丸になってのご協力の賜物です。

10周年記念行事としての『気ままにバードウォッチング』の発刊は正にその好例です。

年頭に当たり支部会員の皆様のご努力およびご協力に対して深謝致しますと同時に、本年度もより以上のお力添えをお願いいたします。特に会員数が2,500人あたりでやや伸び悩み状態を示している現在会員獲得の為に、お知り合いの方、同僚、親戚など、なんらかの接触のある方に「探鳥会においでください」と一言声をおかけください。

本年も1月3日のさぎ山記念公園探鳥会が恒例の御用始めとなります。そこからまた新しい年を始めようではありませんか。

日本野鳥の会埼玉県支部支部長 松井昭吾

戸隠・飯綱探鳥会

藤掛保司（川越市）

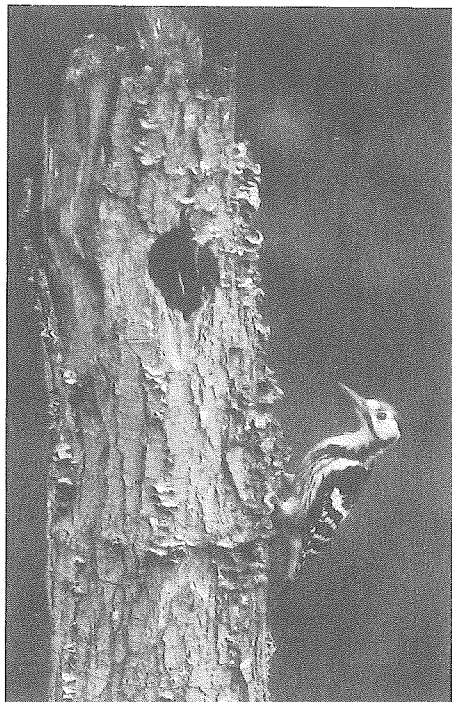
スタート地点の一の鳥居では、アトリ、ゴジュウカラ等が早くも大歓迎のご挨拶。「あはれはコチョウゲンボウ」の声に全員で確認。大座法師池では、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ハジロカイツブリ、カイツブリ、アオサギ、バン等に見惚れ、送迎バスの時間もオーバー。リーダーよりコース短縮の説明にも納得でした。

夕食時、戸隠そば、キノコ類、地酒を楽しみながらの、自己紹介では今日観察できた鳥、「明日はムギマキ」と言いたい放題の期待に、リーダーは「麦刈りも終わったし、後は皆様方の心掛け次第です」と和やかに話も弾み、更にビデオ鑑賞会にと楽しい一日が過ぎました。

早朝は三々五々に出かけ、アオゲラの群に肉眼でも手に取るように観察できまして大感激です。イカルの群も確認できました。

森林植物園ではスタート直後に、期待に応えるかのように、胸がオレンジ色のムギマキ出現です。続いて胸が黄色のマヒワの大群、キバシリ、ミヤマホオジロ等々の出現鳥。

鳥合わせも、48の確認種と参考記録の4種。ムギマキの出現は、全員の心がけが良かったためでしょう。大満足の探鳥会に大喝采。



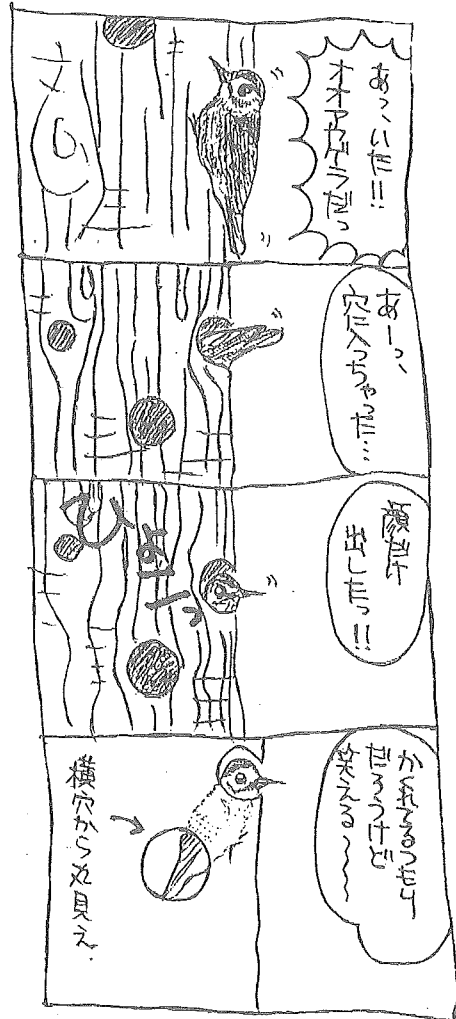
(オオアカゲラ 立岩恒久)

鳥の観察

カンムリカイツブリ ◇11月4日、川越市の伊佐沼で1羽(中司隆由)。
チュウサギ ◇10月23日、富士見市の新河岸川伊佐島橋～南畑橋間右岸の田んぼで1羽(中司隆由)。◇10月28日、富士見市水子の柳瀬川左岸の田んぼで1羽(中村治)。
コサギ ◇11月30日、入間市の入間川豊水橋上流、笹井堰で40～50羽(古沢紀)。
アオサギ ◇11月12日、伊奈町の原市沼休耕田上空で1羽(森永徳一)。
ヨシガモ ◇11月20日、戸田市の戸田橋付近の荒川河川敷でヒドリガモ群れ中に♂1羽(高橋達也)。
オカヨシガモ ◇11月3日、狭山湖で♂1羽(古沢紀)。
ハシビロガモ ◇10月23日、富士見市の新河岸川木染橋上流で♂エクリプス1羽。同、伊佐島橋下流で♂エクリプス1羽♀1羽(中司隆由)。
スズガモ ◇11月5日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森の池で♀1羽(鈴木博志)。◇11月20日、大宮市三橋1丁目の鴨川で♀1羽(浅見健一)。
ミコアイサ ◇11月29日、久喜市の昭和池で♀1羽(村上由香他3名)。
オオタカ ◇11月3日、狭山湖で1羽。カラスにモビングされる(古沢紀)。◇11月12日、伊奈町の伊奈代官屋敷跡上空で1羽(森永徳一)。◇11月25日、大宮市指扇の住宅地上空で1羽(松井昭吾)。◇11月29日、桶川市川田谷で1羽(村上由香他3名)。
ノスリ ◇11月11日、飯能市下畑、成木川付近で1羽(藤森三治・恵美子)。
ハヤブサ ◇11月29日、北本市石戸宿の自然観察公園で1羽(村上由香他3名)。
チョウゲンボウ ◇11月12日、伊奈町の原市沼休耕田上空で1羽(森永徳一)。◇11月21日、桶川市若宮の自宅上空で1羽(立岩恒久)。
オオバン ◇11月12日、伊奈町の原市沼で2羽(森永徳一)。

イカルチドリ ◇11月4日、川越市の伊佐沼で5羽(中司隆由)。
タゲリ ◇11月2日、大宮市の治水橋錦ヶ原教習所脇の田んぼで78羽(金井祐二)。◇11月5日、幸手市権現堂の中川で2羽(鈴木博志)。◇11月5日、蓮田市馬込の田んぼで14羽(鈴木博志)。◇11月5日、庄和町の江戸川河川敷で82羽。その内23羽が中洲で水浴をしていた(鈴木博志)。
オジロトウネン ◇11月5日、幸手市権現堂の中川みゆき橋付近で3羽(鈴木博志)。
ハマシギ ◇11月4日、川越市の伊佐沼で冬羽26羽(中司隆由)。
ツツドリ ◇10月1日、大宮市日進1丁目で1羽(浅見健一)。◇10月10日、富士見市水子の柳瀬川左岸の田んぼで1羽。しきりに飛び回っていた(柳瀬川自然観察会)。
フクロウ ◇11月12日午後11時10分、大滝村のガク沢合流点付近で1羽(青山紘一、外山雅大)。
カワセミ ◇11月12日、伊奈町の原市沼で2羽(森永徳一)。
アオゲラ ◇11月17日、飯能市下畑、成木川付近の雑木林で1羽(藤森三治・恵美子)。
アカゲラ ◇10月8日、大宮市日進1丁目で♂1羽(浅見健一)。◇11月1日、戸田市道満の釣り堀横の林で1羽(高橋達也)。◇11月8日、大宮市日進1丁目で1羽(森本國夫)。◇11月29日、北本市石戸宿の自然観察公園で1羽(村上由香他3名)。
オオアカゲラ ◇11月29日、北本市石戸宿の自然観察公園で1羽(村上由香他3名)。
ツバメ ◇11月6日、入間市野田の自宅上空で5羽。ヒメアマツバメ5羽と一緒に飛んでいた(山本真貴子)。
タヒバリ ◇11月1日、飯能市下畑、成木川付近の雑木林で1羽(藤森三治・恵美子)。
ノビタキ ◇10月7日、富士見市水子の柳瀬川左岸の田んぼで2羽(中村治)。
イソヒヨドリ ◇11月3日、戸田市の戸田橋付近の荒川で♀1羽。護岸のテトラポットにとまっていた(高橋達也)。
トラツグミ ◇11月8日、大宮市日進1丁目で1羽(森本國夫)。

- アカハラ ◇11月1日、戸田市の戸田公園で2羽(高橋達也)。
 シロハラ ◇11月8日、寄居町の鐘撞堂山で2羽(田口浩司)。
 マミチャジナイ ◇11月12日、戸田市道満で♂1羽(細井要)。
 ツグミ ◇11月9日、大宮市プラザの自宅付近で1羽(金井祐二)。
 エゾビタキ ◇10月1日、大宮市日進1丁目で2羽(浅見健一)。
 コサメビタキ ◇10月1日、大宮市日進1丁目で2羽(浅見健一)。
 エナガ ◇11月3日、狭山市の智光山公園で約20羽(古沢紀)。◇11月30日、入間市の入間川豊水橋上流、笹井堰で約20羽(古沢紀)。
 ヒガラ ◇10月8日、大宮市日進1丁目で2羽(浅見健一)。11月8日、同所で1羽(森本國夫)。
 ヤマガラ ◇11月3日、狭山市の智光山公園で約20羽(古沢紀)。
 カシラダカ ◇11月1日、飯能市下畑、成木川付近の雑木林で2羽(藤森三治・恵美子)。
 クロジ ◇11月13日、大宮市日進1丁目で♂2羽♀1羽(浅見健一)。
 オオジュリン ◇11月29日、浦和市秋ヶ瀬のB区で数羽(村上由香他3名)。
 マヒワ ◇10月16日、三峰山で約30羽(山岸昭治)。
 イカル ◇10月25日、寄居町の玉淀川原で20羽(田口浩司)。◇11月11日、飯能市下畑、成木川付近で2羽(藤森三治・恵美子)。◇11月14日、幸手市権現堂で6羽(田畑孝)。
 カケス ◇10月22日、大宮市日進1丁目で4羽(浅見健一)。



キツツキのねぐら入りを見ました！
 キツツキが穴に入って寝ることをしらなかった
 ので、実際に見て驚きました。しかし、あの
 ねぐら入りには、大笑い!! 本当にこの時
 のオオアカゲラは、穴だらけの木にねぐら入
 りしたので、横穴から丸見えでした。

(カット・文 村上由香)

表紙の写真

『気ままにバードウォッチング』掲載作品

カワセミ (カワセミ科)

冬の見沼たんぼ。加田屋川。記録的な大雪
 が降った日。

吹雪をものともせず、カワセミは活発に活
 動していた。撮影はちょっとしんどかったけ
 ど……

このあたりを縄張りにするカワセミは毎年
 繁殖しており、春には求愛給餌、交尾等を観
 察する事もできる。

夜、笹の枝で寝ているところも撮影させて
 くれた。 水内 誠 (草加市)

行事あんない



(渡辺 敦)

探鳥会への参加は、特別な場合を除いて予約申込みの必要はありません。受付は探鳥会当日。参加費は一般100円。会員及び中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。小雨決行です。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時ごろになります。

◇はじめて探鳥会に参加される方へ◇

集合場所へ着いたら、まず“日本野鳥の会埼玉県支部”の旗か、青い腕章をつけた担当者を探して、遠慮なく声をおかけ下さい。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：1月8日（日）

集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅

交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:03発に乗車

担当：菱沼（一）、森本、小池、田口、斉藤、菱沼（洋）、中島（章）、石井（博）、根岸、和田

見どころ：お正月気分のまだ抜けないあなた。そろそろ炬燵とミカンはやめにしてフィールドにでかけましょう。この時期大麻生では約40種の野鳥が見られますよ！

大宮市・深作川遊水池探鳥会

期日：1月8日（日）

集合：午前8時45分 JR宇都宮線東大宮駅東口、または午前9時15分アーバンみらいバス折返場

担当：中島（康）、林（慎）、中村（栄）、吉安、玉井、墨江

見どころ：初春のカモウォッチングは深作川で楽しみませんか。オカヨシガモが見られます。霜柱のたつ田圃にタゲリの群。運がよければクイナもヒョッコリ！

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：1月15日（日・祝）

集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口（集合後、バスで現地へ）または、

午前9時 浦和市立郷土博物館前

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見、福井、渡辺（周）、手塚、笠原、伊藤、若林、岡部、倉林、嶋田、兼元

見どころ：特に変わったことはないが、年の初めは気持ちが改まる。特に変わった土地でないが、三室は人の味がする。特に変わった鳥は出ないが、懐かしい鳥に出会った気がする。ことしも三室をよろしく。

ガン・カモ類一斉調査

期日：1月15日（日・祝）

詳しくは12月号5頁をご覧ください。

寄居町・鐘撞堂山探鳥会

期日：1月16日（月・振休）

集合：午前9時10分 秩父鉄道寄居駅北口

交通：秩父鉄道熊谷8:23→寄居8:50、お花畑8:19→寄居9:02、東武東上線川越8:00→小川町乗継→寄居8:56

担当：田口、小池、松井、菱沼（一）、岡安、榎本、林（滋）

見どころ：お正月の慌ただしさも一段落、そろそろ探鳥会への参加はいかがですか。カヤクグリ・ルリビタキがお待ちしています。

吉見町・吉見百穴周辺探鳥会

期日：1月16日（月・振休）

集合：午前9時30分 吉見百穴公園入口前
交通：JR高崎線鴻巣駅東口、東海銀行前より
東武バス8:53発、東上線東松山駅より
百穴方面行バス8:53発に乘車。百穴入
口下車、徒歩5分

担当：榎本、岡安、吉原、立岩、内藤、高草
木、藤掛

見どころ：こごえそうな冬景色も、よく見れ
ば元気の野鳥でいっぱいです。千羽の
群からトモエガモが見つければ、あな
たは今年のラッキーマン！

北川辺町 渡良瀬遊水地

期日：1月16日（月・振替）

集合：午前9時10分 東武日光線柳生駅前
交通：JR宇都宮線大宮8:01→栗橋8:30、東武
日光線乗換8:52→柳生9:02

担当：中島（康）、松井、吉原、五十嵐、入
山、篠原（五）

見どころ：駅から歩いて遊水地を巡ります。
万羽のカモ達の中から何種見つけられ
るでしょうか。カンムリカイツブリ・
カワアイサ・ミコアイサにも期待！

春日部市 内牧アスレチック公園探鳥会

期日：1月22日（日）

集合：午前8時30分 東武伊勢崎線春日部駅
西口・東武バス停1番前（集合後バス
で現地へ）または午前9時30分 内牧
アスレチック公園前駐車場

担当：石川、篠原（東）、吉安、入山、橋口
見どころ：春日部で初めての探鳥会です。冬
の陽光の中、屋敷林や雑木林で里の小
鳥、ジョウビタキ、シメ、ヤマガラ、ア
オジ、コゲラなどに会えるでしょう。
運よくアカゲラにも出会えるかも。

狭山市 人間川定例探鳥会

期日：1月22日（日）

集合：午前9時 西武新宿線狭山市駅西口
交通：西武新宿線本川越8:43発、所沢8:45発
に乘車。

担当：長谷部、三田、石井（幸）、小野、中
村（祐）、高草木、山本、藤掛

見どころ：色あせて見える冬枯れのフィール
ドに、瑠璃色一直線カワセミのあおさ
が輝きます。暖かい服装でおでかけ下
さい。特に手袋をお忘れなく。

川口市 差間探鳥会

期日：1月22日（日）

集合：午後2時45分 JR武蔵野線東浦和駅前
解散：午後5時頃

担当：手塚、伊藤、笠原

見どころ：夕暮れにかけての見沼散歩。冬枯
れのアシ原に今年もコミミズクに期待
してウォッチング。大寒に入って最も
寒い時季、暖かくしてお出かけ下さい。

長瀨町 長瀨探鳥会

期日：1月22日（日）

集合：午前10時10分 秩父鉄道長瀨駅前
交通：秩父鉄道熊谷9:11発、西武線所沢7:
44発→秩父鉄道お花畑9:21発に乘車

解散：午後2時頃、白鳥荘にて

担当：小池、佐久間、町田、関根、青山、岡
野、井上

見どころ：観光シーズンも終わり、静けさが
戻って水鳥もリーダーもひと安心。オ
シドリ・ヤマセミに期待して今回も河
原を歩きます。防寒と足拵えは充分
に。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：1月28日（土）午後1時～2時ごろ

会場：支部事務局108号室

野鳥写真クラブ定例会

とき：1月28日（土）午後2時ごろ～5時

会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ

宮城県 伊豆沼探鳥会（雲予約）

期日：1月28日（土）～29日（日）

詳細は12頁をご覧ください。

来月の探鳥会予定

2月5日（日）・北本市石戸宿定例

・長野県軽井沢

・深谷市仙元山公園

行事報告



8月21日(日) 9/4放映VTRを楽しむ会

参加: 24人

9月25日(日) タカの渡り調査

ボランティア: 39人

新井 巖、石川英司、石松康幸、伊藤幸子、榎本秀和、榎本みち子、海老原教子、海老原美夫、小淵健二、佐久間博文、桜庭 勇、佐藤 進、篠原東彦、鈴木和博、鈴木武弘、鈴木裕美、鈴木深雪、滝田美恵子、高松 格、玉井正晴、内藤義雄、中島章二、中島康夫、中村榮男、芳賀貴章、馬場友里恵、菱沼一充、菱沼洋子、福井恒人、福井 亘、藤野富代、藤森恵美子、藤森三治、逸見 嶮、松井昭吾、森本國夫、山口輝雄、吉安一彦、和田康男 ㊦㊦㊦㊦㊦ 堂平山、鐘撞堂山、物見山、天覧山で調査が行われました。調査に参加された皆様、どうぞご苦労さまでした。なお、物見山では、10月2日にも調査が行われました。㊦㊦㊦㊦㊦

10月16日(日) 浦和市 三室地区

参加: 72人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ チュウサギ コサギ カルガモ コガモ オナガガモ キンクロハジロ ヒドリガモ チョウゲンボウ コジュケイ バン イソシギ キジバト ツツドリ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (33種) 3ヵ月ぶりの晴の探鳥会で、たくさんの仲間が集まった。鳥たちも歓迎して、カモたちが勢ぞろい。季節の風に乗って、ツツドリ、ヤマガラがやってきた。リーダーのお休みが多く、臨時リーダー大活躍。新人リーダーの若林さん、北浦和でお出迎え大活躍。これで、三室の鳥見の集いはいつまでも楽しく続くのです。(楠見邦博)

10月22~23日(土~日) 長野県 戸隠飯綱高原

参加: 28人 天気: 晴

カイツブリ ハジロカイツブリ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ ホシハジロ キンクロハジロ トビ ノスリ タカsp コチ ョウゲンボウ キジバト バン アマツバメ アオゲラ アカゲラ コゲラ キセキレイ モズ アカハラ ツグミsp ムシクイsp ウグイス キウイタダキ キビタキ ムギマキ エゾビタキ エナガ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ キバシリ メジロ ホオジロ カシラダカ ミヤマホオジロ クロジ アトリ カワラヒワ マヒワ イカル シメ スズメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (50種) 参加者の熱意に圧倒され、低気圧はどこかへ行ってしまった。青空の下、冠雪の山々が美しい。1日目のハイライトは飯綱高原の木道で見たコチ ョウゲンボウと大座法師の水鳥たち。夜のミーティングでは、「珍鳥を出して!」の声が続出。リーダーを困らせた。2日目は、植物園から牧場に至る紅葉の散策コース。植物園入口の中央広場でキビタキとムギマキ。以後は、カラ、ケラ、ワシタカ類が続ぎ、キバシリ、ゴジュウカラ、ミヤマホオジロなど山の鳥も予定どおり。木の葉に似たマヒワの群れも印象に残った。牧場にはまだエゾビタキがいた。最後にツルマサキの実をついばむムギマキの群れの再登場でクライマックスに達し、帰途についた。(岡安征也)

10月23日(日) 浦和市 秋ヶ瀬

参加: 58人 天気: 晴

カワウ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ オオタカ タカsp ハヤブサ チョウゲンボウ タシギ カモメsp キジバト ヒバリ ツバメ タヒバリ ヒヨドリ モズ ノビタキ セッカ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (27種) サギが2種出現。シギは1種のみ。お目当てのジョウビタキ、シメ、カシラダカ、アオジに会えず。これはサギではないかとの声も。でも、オオタカ、チョウゲンボウ、ハヤブサが出

て、ハイタカの類も。カモは4種で、カモメspとまぜます。(福井恒人)

10月29日(土)『しらごと』袋づめの会

ボランティア:11人

赤塚義正、荒木恒夫、海老原教子、海老原美夫、角田真喜子、佐久間博文、藤野富代、松元達夫、若林正徳、谷津弘子、渡辺喜八郎 ㊦ご苦労さま。

10月29日(土)~11月6日(日)

バードウォッチングウィーク展

「さまざまにバードウォッチング」

ボランティア:27人

青沼俊雄、石川敏男、榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、大嶋恵里菜、大嶋己恵子、岡安征也、小淵健二、楠見文子、工藤洋三、小池一男、篠原東彦、進藤 隆、田口浩司、内藤義雄、中島康夫、中村榮男、菱沼一充、菱沼洋子、福井恒人、町田好一郎、松井昭吾、森本國夫、吉原早苗、吉原俊雄、吉本富美子 ㊦夫婦の名前の前後は、夫婦間の序列を表わすものではありません。あくまでも50音順です。念の為。みなさんご苦労さまでした。

10月30日(日) 行田市 さきたま古墳公園

参加:35人 天気:曇

カワウ コサギ マガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ コジュケイ シラコバト キジバト ツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ウグイス ムシクイsp コサメビタキ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (31種)曇り空のもと雨さえ降らなければと思いつつスタート。10月末なのにツバメが出てビックリ。これから南に帰るのかと一寸心配。ジョウビタキは予定どおり出たし、まちがいなく季節は巡っている。それにしても、まだ緑は濃く、終了後に見たキビタキと併せ考えると不思議な気分だった。(内藤義雄)

10月30日(日) 川越市 西川越

参加:31人 天気:曇

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ イカルチドリ タゲリ タシギ キジバト カワセミ アカゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセ

キレイ ヒヨドリ モズ シジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ イカルシメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (32種)探鳥が始まってすぐに林の中でキョッ、キョッの鳴き声。なかなか見えなかったが、ようやく西川越では初めてのアカゲラを確認。河原では、上空に今年初めてのタゲリが8羽。川の下のでカモ、イカルチドリ、タシギがかたまっていた。(佐久間博文)

11月3日(木、休) 上尾市 丸山公園

参加:28人 天気:小雨&曇

カイツブリ カワウ コサギ アオサギ マガモ カルガモ ツミ タゲリ キジバト カワセミ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (31種)あいにくの雨の中を、28名のみなさんが集まってくれた。出発して間もなくツミのキキキというけたたましい声が。滝近くの森で、ツミが捕らえた鳥を足に重そうにつかんで、すさまじい声を出しながらかけ巡り、羽毛が飛び散った。池では、コバルトブルーのハンサムボニー、カワセミ君が首をヒョコヒョコ。荒川上空では、今年初めて14羽のタゲリがふわふわと飛んだ。畑一面に咲いたコスモスの花の色に見とれ、ホトトギスの花に目を向けた。芦原に渡ってきたばかりのシメが群れて餌をついばんでいた。(立岩恒久)

11月3日(木、休) 富士見市 柳瀬川

参加:33人 天気:曇

カワウ カイツブリ チュウサギ コサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ キジクイナ イソシギ タシギ ユリカモメ キジバト ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (27種)今にも泣き出しそうな空の下、探鳥会を開始。直後にクイナ君が2羽も姿を見せてくれた。近くでモズが我々を威かすが如く囀り、川ではヒドリガモが数多く姿を見せてくれた。途中で霧雨が降り出し、鳥の数も少なくなったため、終了とした。期待のタゲリの姿が見られなかったことが残念だ。(石井幸男)

はみだし行事案内

宮城県・伊豆沼探鳥会 (要予約)

期日：1月28日(土)～29日(日)
集合：28日午前7時 大宮駅新幹線ホーム
交通：東北新幹線を利用
費用：8000円位の予定(1泊2食付宿泊費、
現地交通費、保険料などの分)。
現地までの往復交通費は各自負担。ハ
ートランドフリー切符(往復15,000円・
新幹線自由席)利用が便利です。
定員：20名(先着順・県支部会員優先)
申し込み：往復はがきに住所・氏名・年令・

性別・電話番号を明記して、中島康夫
まで。

担当：中島(康)、松井、楠見、桜庭
見どころ：2万羽を越すマガンの群れが飛び
交う伊豆沼周辺を歩きます。チュウヒ・
オジロワシ・ハヤブサなどのワシタカ類
も。

注意：積雪の中の鳥見です。防寒対策と、数
キロ歩ける足元の準備を。

宿泊は、男女別の相部屋です。

連絡 申長

●第5回オオタカ保護シンポジウム

テーマ：①流山市(都市近郊)のオオタカ生
息地の視察 ②オオタカ保護活動やハイタ
カ族の生態に関する報告発表 ③まちづく
りとオオタカ保護

主催：オオタカ保護ネットワーク、日本野鳥
の会栃木県支部、同千葉県支部

日程：平成7年1月28日(土)午後12時30分
流山市総合運動公園駐車場で受付開始。午
後3時30分まで市野谷の森視察。流山青年
の家で夕食・懇親会・宿泊。

1月29日(日)午前9時30分～午後4時
30分流山市初石公民館で活動報告・研究発
表・シンポジウム。

費用：視察・シンポジウム参加費無料、資料
代500円、懇親会2000円、宿泊2食付1500
円、29日弁当代500円程度。

申し込み：郵送またはFAXで、氏名、所属
団体、住所、電話番号、視察・懇親会・シ
ンポのどれに参加するか、宿泊・弁当の必
要の有無を明記して、栃木県支部(320字
都宮市星ヶ丘2-2-10-101、FAX 0286-27-78
91、TEL 0286-25-4051)まで。問合せも。

●1月の土曜日当番(2時～6時)

7日 事務局休み
14日 山部直喜 海老原美夫(編集会議)
21日 桜庭 勇 海老原美夫(校正の日)
28日 袋づめの会(1時から)

●会員数は

12月1日現在 2,468人です

活動報告

11月6日 アズ熊谷パネル展撤去作業。
11月12日 編集会議、研究部会議。
11月19日 12月号校正作業(海老原美夫、森
本國夫)。
11月20日 役員会議(司会：小池一男、探鳥
会の追加と変更・土曜日当番・その他)。

編集後記

93年末の谷津干潟は、ソリハシセイタカシ
ギが来てくれた。94年末は、歌手の山本リン
ダさんがファンクラブを率いて自然観察会に
参加してくれた。さて、95年はどんな鳥やど
んな人に会えるか、期待に燃えて私もついに
エクリプスから変身した。(杉本秀樹)

『しらこぼと』1995年1月号(第129号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
〒336 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130
印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)

再生紙使用